

## CARTA ZERO、1億超IDのデータ分析から広告配信、効果検証までを一気通貫で提供する「docomo data square Ads」を販売開始

---



株式会社CARTA ZERO（本社：東京都港区、代表取締役CEO：高橋 学）は、株式会社NTTドコモが提供するデータクリーンルーム「docomo data square®（ドコモ データ スクエア）」を基盤とした、新たな広告配信ソリューションパッケージ「docomo data square Ads（ドコモ データ スクエア アズ）」を2026年7月より販売開始いたします。

本サービスは、1億を超える（※1）dポイントクラブ会員基盤のNTTドコモのデータ（※2）を活用し、企業の目的やKPIに応じて、潜在的な関心層から確度の高い見込層まで最適な広告配信を行えるのが特徴です。CARTA ZEROのアドプラットフォーム「PORTO」を含む広告基盤との統合・再編により、オンライン・オフラインを統合した高度なデータ分析から、効率的な広告配信、効果検証までを一気通貫で実現し、Single IDを活用したマーケティング支援をさらに強化してまいります。

本ソリューションの販売開始にあわせて「docomo data square®」のロゴもNTTドコモにより刷新されました。

※1 2026年3月末時点のdポイントクラブ会員数

※2 個人が特定されるデータは含まれていません。

## ■背景と目的

CARTA HOLDINGSのNTTドコモグループ入りに伴い、両社のアセットを融合させた「Single ID Marketing」（※3）のさらなる提供価値の向上を推進しています。

「docomo data square®」は、リリース以来、1億を超えるdポイントクラブ会員を活用したデータ分析基盤として、Single IDを活用した分析・マーケティング支援を推進し、多くの企業のマーケティング課題解決に貢献してきました。

一方で、企業のマーケティング課題やユーザー行動は年々複雑化しており、顧客接点やデータが多様化する中で、ターゲットの実態把握や施策ごとの効果検証が難しくなっています。そのため、分断されたデータを統合し、より確かな分析・検証に基づいて戦略立案から施策実行、効果検証までを一貫して行える環境へのニーズが高まっています。

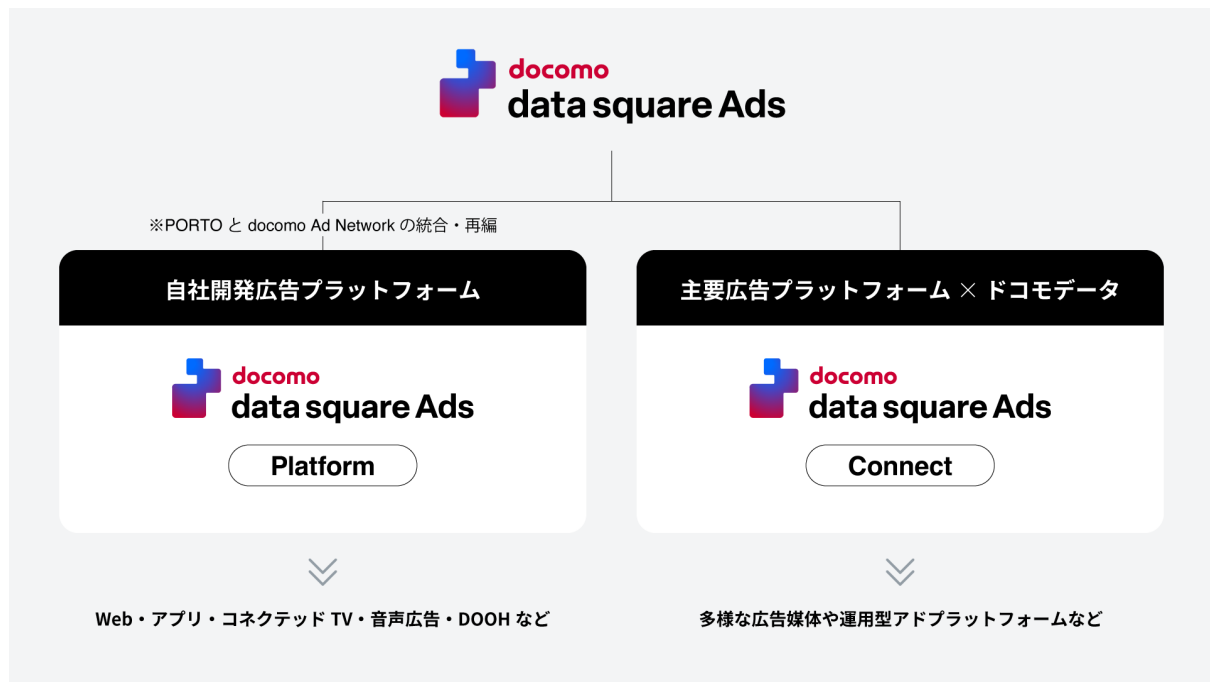
こうした背景を踏まえ、このたび、CARTA ZEROとNTTドコモの広告配信基盤、データ分析基盤、IDソリューション等を結集し、「docomo data square Ads」を販売開始。データ分析から広告配信、効果検証までを、Single IDを基盤としてよりシームレスかつ高度に連携させることが可能になりました。

（※3）1億超のdポイントクラブ会員基盤と、その一人ひとりに紐づくオンライン・オフライン横断の行動・購買データを含むID単位の会員データを土台に、戦略・戦術立案から施策実行、効果検証までを一気通貫で支援するマーケティング手法です。

## ■「docomo data square Ads」の構成と特徴

「docomo data square Ads」は、NTTドコモのデータを用いた分析によって特定された顧客層に対し、最適化された配信を行うソリューションの総称です。

2026年7月より、「docomo data square Ads Platform」「docomo data square Ads Connect」の2つの広告メニューの販売を開始いたします。



## 1. docomo data square Ads Platform

CARTA ZEROが開発・展開するアドプラットフォーム「PORTO」と、NTTドコモが提供（※4）する運用型広告配信プラットフォーム「docomo Ad Network」を統合・再編し、「docomo data square ads Platform」という同一ブランドの下で販売を開始いたします。

「メッセージS」「dポイントクラブ」「dメニュー」などの豊富なNTTドコモのメディアから、Web・アプリメディア、コネクテッドTV、音声広告、DOOH（デジタル屋外広告）まで、あらゆる生活者接点への網羅的なアプローチを実現します。

昨今のサードパーティクッキー（3rd-Party Cookie）規制により、従来のデータマーケティングが困難になるなか、本プラットフォームは信頼性の高い会員基盤に基づくNTTドコモのデータや、IDソリューション「docomo connecting path」をフル活用し、Cookieに依存しない高精度なターゲティング配信を可能にします。

さらに自社開発プロダクトならではの強みを活かし、ターゲット分析から広告配信、運用改善、そして広告配信ログに基づくオンオフ統合の効果測定・分析レポートまでを、データロスなく一気通貫で支援。「Single ID Marketing」を体現する次世代のアドプラットフォームとして、企業のブランディングからパフォーマンスまで、あらゆるマーケティング課題の解決を支援します。

（※4）「docomo Ad Network」は、2026年7月1日より株式会社D2Cからの吸収分割による事業承継により、CARTA ZEROが開発・販売を行っています。

## 2. docomo data square Ads Connect

CARTA ZEROは、自社開発のアドプラットフォームに留まらず、外部の主要な運用型広告等においてNTTドコモのデータを活用した配信を実現するメニューの総称として、新たに「docomo data square Ads Connect」を展開いたします。

本メニューは、Google、Meta、X（旧Twitter）、SmartNews、Yahoo! JAPAN、LINEをはじめとする、市場シェアの大半を占める多様な広告媒体や運用型広告プラットフォームへ、NTTドコモのデータをスムーズに連携・活用した広告配信を可能にします。これにより、ユーザーが日常的に利用する主要なSNS、ポータルサイト、動画媒体といったあらゆる広告接点に対して、NTTドコモのデータを基盤とした高精度なアプローチをシームレスに展開できます。

信頼性の高いファーストパーティデータであるNTTドコモのデータを外部媒体へ安全かつ円滑に「接続（Connect）」することで、高精度なターゲティングリストとしての活用だけでなく、各プラットフォームにおける配信最適化のシードデータとしても機能します。

### ■資料ダウンロード

以下のリンクから無料でダウンロードできます。

<https://know-how-now.cartazero.co.jp/download/docomo-data-square-ads>

今後もCARTA ZEROは、付加価値の高いサービス提供を通じて、クライアントのマーケティング活動の支援を行ってまいります。

### ■「NTTドコモのデータ」について

株式会社CARTA ZEROが、NTTドコモから提供を受けている第三者提供に同意されたユーザーデータ（広告識別子・属性情報・位置情報・行動履歴など）。1億超（2026年3月末時点のdポイントクラブ会員）の会員基盤を持ち、属性データ（性別、年齢など）だけでなくキャリアならではの位置情報・購買履歴などの実行動データを保有しており、NTTドコモのデータを活用した業種別広告商品の取り扱いも行っています。なお、これらのNTTドコモのデータには個人が特定されるデータは含まれておりません。

### ■「docomo data square®」について

「docomo data square®」とは、NTTドコモが保有する利用者データとユーザーの属性や行動、興味関心が推定できるAIを組み合わせることでターゲットを分析し統計情報を可視化できるサービスです。正確で多彩なNTTドコモのデータを活用することで、オンラインとオフラインを統合したデータ分析を実現します。これにより、広告配信前後のプランニングや効果検

証、位置情報を活用した特定エリアの人流分析など、企業のマーケティング活動を強力にサポートします。

### ■ 「PORTO」について

CARTA ZEROが開発・運営するブランド広告主向けのアドプラットフォームです。

「PORTO」ではオンライン・オフラインを問わない統合的な配信・分析が可能です。メディアを限定せず幅広い選択肢を持つことで、広告主の課題解決に最適なソリューションを提案します。さらに、広告配信KPIに合わせて配信方法や組み合わせを分析し、メディアを横断した戦略を立てることで、効果の最大化を目指します。

### ■ 「docomo Ad Network」について

「dメニュー」「dポイントクラブ」「メッセージS」など、NTTドコモが運営する複数のメディアと一部の外部メディアへ横断的に配信が可能な運用型広告配信プラットフォームです。NTTドコモの1億超ユーザーに対して、大規模なリーチを実現するだけでなく、NTTドコモならではのデータを活用したターゲティング広告の配信が可能です。

メディアユーザーの同意を得て取得した性別・年齢・居住エリアなどの属性情報や、サービス利用データなどを活用することで、ターゲット層に適したセグメントを作成、より精度の高い広告配信を実現し、企業のマーケティング活動を支援します。

### ■ 「docomo connecting path」について

docomo connecting path（通称「コネパス」）は、お客さまからの事前同意のもと、お客さまがご契約のNTTドコモの通信回線で各種サイトやアプリを利用した際にNTTドコモが発行するIPアドレス等を用いて、ユーザー識別を可能にする、お客さまのプライバシーに配慮した広告専用ID発行ソリューションです。本IDは、事前同意を得たゼロパーティーデータであり、Cookieレスのブラウザ（Safari等）を利用した際もユーザー同定が可能になります。「docomo Ad Network」では「コネパス」の機能を活用した広告主サイトでのオーディエンス情報の蓄積、ターゲティング広告配信と、コンバージョン計測に対応しています。

会社名	株式会社CARTA ZERO ( <a href="https://cartazero.co.jp/">https://cartazero.co.jp/</a> )
所在地	東京都港区虎ノ門2-6-1 虎ノ門ヒルズステーションタワー36F
代表者	代表取締役CEO 高橋 学 代表取締役COO 西園 正志
設立	2011年4月1日

資本金	60百万円
株主	株式会社CARTA HOLDINGS 100%
事業内容	デジタルマーケティング支援事業

### リリースに関するお問合せ先

株式会社CARTA ZERO  
広報担当

[https://www.cartazero.co.jp/ja/contact\\_release](https://www.cartazero.co.jp/ja/contact_release)